高校生の頃にバイクにハマり、その後しばらくはクルマのカスタムに没頭していたという平澤さん。そのカスタムという視点からハーレーを知っていくうちに、徐々にハーレーに興味を持ち始めたと言う。

「クルマは一通りやり尽くしたかなっていうタイミングで、バイクにまた乗りたいと思って、ハーレーのことを調べたら、パーツの多さや、カスタムの幅広さに驚いて、ハーレーに乗りたいと思ったんです」

そして、'09年のヘリテイジを新車で購入し、しばらくはヘリテイジらしさを残したライトカスタムで乗っていた。しかし、雑誌などで様々なカスタムを目にする度に、新たなカスタム欲が湧き、3度目のカスタムでいまの姿になったという。

「ジャックマシンの本郷さんに相談していまの形にカスタムしてもらいました。ワイドタイヤを履かせたスタイルにしたかったんです。一部をカスタムしたときに、全体のバランスが崩れるのが嫌で、本郷さんに相談しながらパーツをセレクトしました。日頃から自分で撮ったバイクの写真を見ながら、車体のバランスを常に考えています。格好を意識するようになったのも、ハーレーに乗るようになったのがきっかけですね」

研究熱心な性格からか、知れば知るほどハーレーにハマっていった平澤さんは、いまでは'12年式FLTRのCVOも所有しているという。

「ヘリテイジは完全に自分ひとり用にカスタムしてしまったので、TRは家族と楽しめるようにと思って。近所はこっちで、ロングや家族と遊ぶときはTRっていう感じで乗り分けています。最近は旧車も気になってきたので、ますますハーレー欲が尽きる気がしませんね……」

Owner :

雑誌やカタログを見ながらイメージする時間も好きだと言う、カスタム好きの平澤義一さん。愛車はペイントが特にお気に入りだそう

カスタムはもちろん、キズやヨゴレも自分そのもの…。 / 1000 RIDER 1000 HARLEY /

ハーレーに関する欲が尽きる気がしません……。

'09 FLSTC&平澤義一さん

text/Y.Kinpara 金原悠太 photo/S.Ise 伊勢悟
取材協力／ジャックマシン TEL028-612-2980 www.jackmachine.net

Styling :

No. 466 / 1000

ワイドタイヤとペイントで個性を演出。

ワイドタイヤをコンセプトにしたカスタム。ホイールサイズをF21-R18に変更し、リアタイヤの幅に合わせて、スイングアームをハートランドのワイド用のモノに換装した。個性を主張するキャンディレッドの外装ペイントはブッシュアートによるモノ。次なる目標は「オープンプライマリー化したい」とのこと

Details :

'09 FLSTC

1. 女性とトライバルを描いた個性派ペイント。

サンダーバイクのストレッチタンクには、トライバルとエアブラシで描かれた女性がバランスよく配置される。ハンドルに溶接されたモトガジェットのメーターなど、細部のカスタムも見逃せない

2. エンジンの外装はケンズで統一。

エンジン周りはケンズファクトリーのカバーパーツ、Vanquishシリーズとエアクリーナーでドレスアップし、ビレットパーツの高級感を取り入れ、ツインカムエンジンの迫力を強調している。

3. ホイールの大径化に伴いトレールを調整。

ホイールは前後ともPMのリベラをセレクト。SJPのフロントフォークはホイールの大径化に合わせて、トリプルツリーで6度レイクさせ、トレール量を調整し、快適な操作性を実現している

4. インパクトと性能を両立する250ワイド。

ワイドタイヤとしての見た目の迫力を備ながらも、旋回性など操作に支障をきたさないバランスである250ワイドタイヤをセレクト。PMのブーリーでホイールとデザインを合わせた点も◎